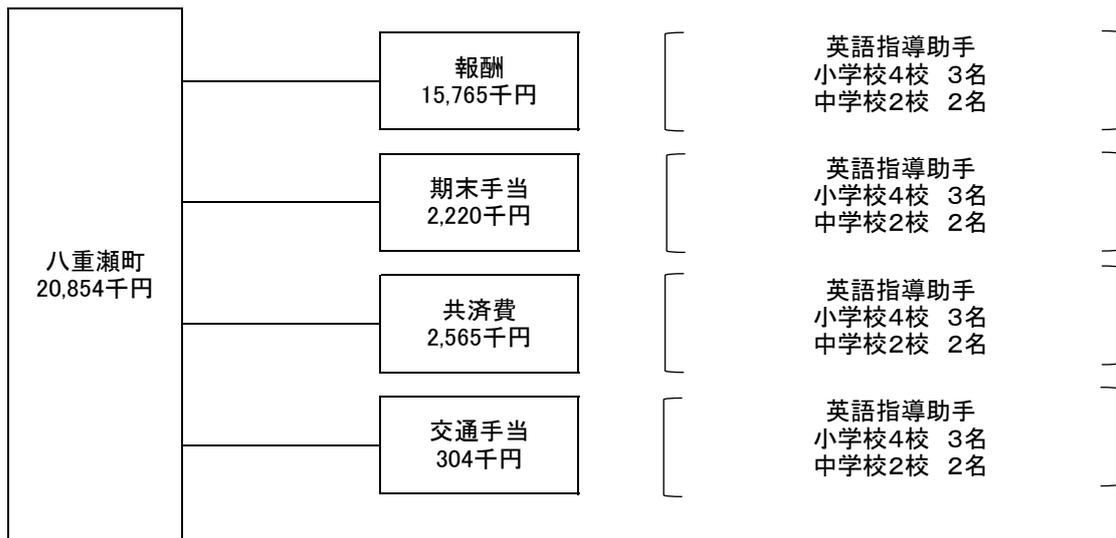


市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町外国語指導強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内小中学校に英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		14,163	14,227	16,404	16,404	20,582
			13,099	14,227	16,404	16,404	21,061
			▲1,064	0	0	0	479
			—	—	—	—	—
	B. 執行済額 うち交付金充当額		13,099	14,227	16,404	16,404	21,061
			13,099	13,894	15,956	16,173	20,854
		10,479	11,115	12,765	12,938	16,682	
		0	0	0	0	0	
		100.0%	97.7%	97.3%	98.6%	99.0%	
予算の状況の説明	当初の計画通り、4月～3月までの期間に5人の英語指導助手を配置し、概ね事業計画どおりに執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	英語指導助手:5人配置	目標	(4人)	(4人)	(5人)	()	
	小学校4校:3人配置し分担 中学校2校:2人配置	実績	4人	4人	5人		
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 英語指導助手を5人(小学校3人配置し分担・中学校2人配置し分担)配置した。 小学校では英語への興味・関心を高めるため「楽しい英語」を意識した授業に取り組んだ。 中学校では英語指導助手のネイティブな英語に触れ、英語力向上に繋がる授業に取り組んだ。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該授業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95.61%	96.20%	84.77%	
	中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差±0ポイント以上	目標	()	(-1ポイント以上)	(±0ポイント以上)	(±0ポイント以上)	()
実績			+1.9ポイント	-0.03ポイント	+1.4		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の英語に対する興味・関心度については、84.77%と目標を達成しているため、英語指導助手を配置したことによる「楽しい英語」の取り組みが学習意欲の向上に繋がった。 中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、+1.4ポイントで成果目標である±0ポイント以上を上回っており目標を達成した。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、アンケート結果が84.77%だったことから英語指導手を配置したことで成果目標である英語に対する興味・関心が高まったと考える。 ・中学校では、沖縄県達成度調査(英語)の結果が成果目標である±0ポイント以上を上回っており英語指導手を配置したことで英語力が向上したと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、引き続き英語への興味・関心が高まるよう「楽しい英語」の取り組みを継続して行う。 ・中学校では、引き続き英語指導助手のネイティブな英語を授業に取り入れ、さらなる英語力向上に繋げる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、引き続き英語の楽しさを伝えるとともに、英語への興味・関心が高まる取り組みを継続する。 ・中学校においては、引き続き学力向上に向けた授業体制と学習意欲を引き出すサポートを継続する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
20,854	20,854	16,682	4,172	0



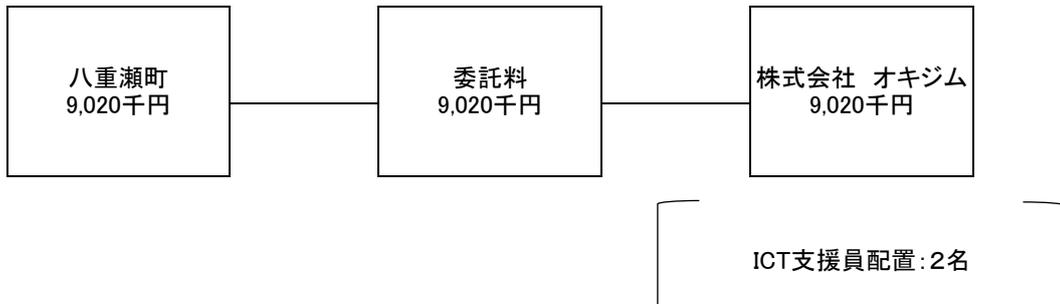
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・配置予定人数分を町規模等に基づき計上した。実績に基づき不用額が発生したが、概ね適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・使途については、外国語指導助手に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町ICT支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	ICT環境を効果的に活用した分かりやすい授業を展開するため、小中学校にICT支援員を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,970	8,108	8,255	8,255	11,368	
		(b) 予算現額	7,877	8,108	6,906	8,255	9,020	
		(c) 増減額(b-a)	▲93	0	▲1,349	0	▲2,348	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)		7,877	8,108	6,906	8,255	9,020	
	B. 執行済額		7,877	6,557	6,090	4,039	9,020	
	うち交付金充当額		6,301	5,245	4,872	3,231	7,216	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	80.9%	88.2%	48.9%	100.0%	
予算の状況の説明		プロポーザル方式で業者選定を行った結果、予算2,348千円減額をした。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	ICT支援員:2人配置		目標	パソコン指導員配置(4人)	パソコン指導員配置(小学校2人、中学校2人)	パソコン指導員配置(小学校2人、中学校2人)	(ICT支援員配置2人)	
	小学校4校・中学校2校に2人配置して巡回		実績	4人	小学校1人、中学校1人、小・中(兼務)1人	2人	2人	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明		当初の計画通りICT支援員を2人確保し、小学校4校・中学校2校を巡回で配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績			90.50%	93.35%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケートにおいて「ICT支援員(パソコンの先生)がいると、授業は分かりやすいですか?」の質問に対し、「とてもわかりやすい」「わかりやすい」と回答した児童生徒の割合が96.80%で目標を上回った。 ・児童生徒アンケートにおいて「ICT支援員(パソコンの先生)に教えてもらいパソコンが使えるようになりましたか?」の質問に対し、「とても使えるようになった」「使えるようになった」と回答した児童生徒の割合が89.91%で目標を上回った。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識を有するICT支援員を配置したことで、昨年度までは困難であったICT機器の操作等の専門的な支援体制が図られ、児童生徒や教員のICT機器の活用能力が向上したと考える。 ・児童生徒へのアンケート結果が93.35%だったことから、成果目標であるICT機器を活用した分かりやす授業が実施されたと考える。 ・昨年度の配置人数から2名減になったが、専門的な知識を有するICT支援員を配置したことで、支障をきたすことなく学校現場と連携をはかることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな機器の導入やプログラミング授業の導入など、急速に発展する情報化社会に児童生徒や教員が取り残されることがないようにサポートする必要がある。 ・引き続き児童生徒へアンケートを行い分かりやすい授業を継続する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・急速に発展する情報化社会に対応できるよう、支援の内容やサポート体制を検討する。 ・児童生徒へわかりやすい授業が実施できるよう、教員のICT機器の操作や活用方法のサポートを検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,020	9,020	7,216	1,804	0



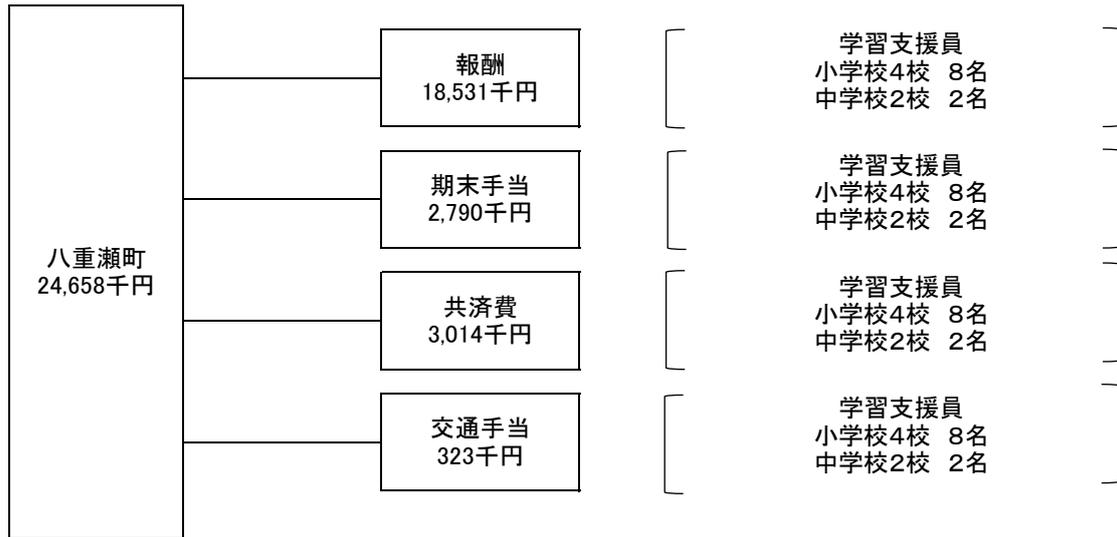
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者はプロポーザル方式の業者選定をしており、妥当であったと考える。 ・不用額を出すことなく事業執行できたため適正であったと考える ・費目、使途については毎月検査を行い、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	八重瀬町学力向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導で、学力の向上を図るため町内小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		31,880	28,897	33,022	33,022	34,602
			18,006	28,897	25,594	33,022	25,630
			▲13,874	0	▲7,428	0	▲8,972
			—	—	—	—	—
			18,006	28,897	25,594	33,022	25,630
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		18,006	22,406	22,255	23,538	24,658
			14,405	17,924	17,804	18,830	19,726
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	77.5%	87.0%	71.3%	96.2%
予算の状況の説明	当初14人の配置計画であったが、人材確保ができなかったことや自己都合退職などがあり、計画していた人員の確保ができなかったため、予算8,972千円を減額した。また勤務実績に伴う報酬等の執行残があり972千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	学習支援員:11人配置	目標	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校6人)	(小学校9人 中学校2人)	
	小学校4校:9人配置 中学校2校:2人配置	実績	小学校10人 中学校4人	小学校9人 中学校4人	小学校8人 中学校3人	小学校8人 中学校2人	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初は、小学校10人・中学校4人の計14名を予定していたが、人材確保が出来なかったため、計画を変更した。また年度末の3月に自己都合退職があったため、小学校8人・中学校2人の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差	目標	()	(-2P以上)	(±0P以上)	(±0P以上)	()
		実績		-0.18P	-2P	+0.13	
	小学校(国語・算数) ±0ポイント以上 児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差	目標	()	(-3P以上)	(-2.4P以上)	(-1.6P以上)	()
		実績		-2.3P	+0.63P	+1.13	
進捗状況説明	・小学校の沖縄県学力到達度調査(国語・算数)における県と本町の平均正答率の差は、+0.13ポイントで成果目標である±0ポイント以上を上回っており目標を達成した。 ・中学校の沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における県と本町の平均正答率の差は、+1.13ポイントで成果目標である-1.6ポイント以上を上回っており目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校ともに成果目標を達成しており、学習支援員を配置したことが学力の向上に繋がったと考える。 ・人材不足のため、予定していた人員を配置することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学力向上に向け、学習支援員を活用した支援体制を継続して行う。 ・計画した人員を確保するため募集方法等の検討が必要である。 ・予算の執行状況や今後の執行見込みを適宜把握する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学習支援員を配置し、学力向上に向けた取り組みを継続して行う。 ・HPやSNS等を活用して募集をかけ、必要な人員の確保に努める。 ・不用額の縮減に向けて、予算執行状況を適宜把握し、減額や流用を適切に行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
24,658	24,658	19,726	4,932	0



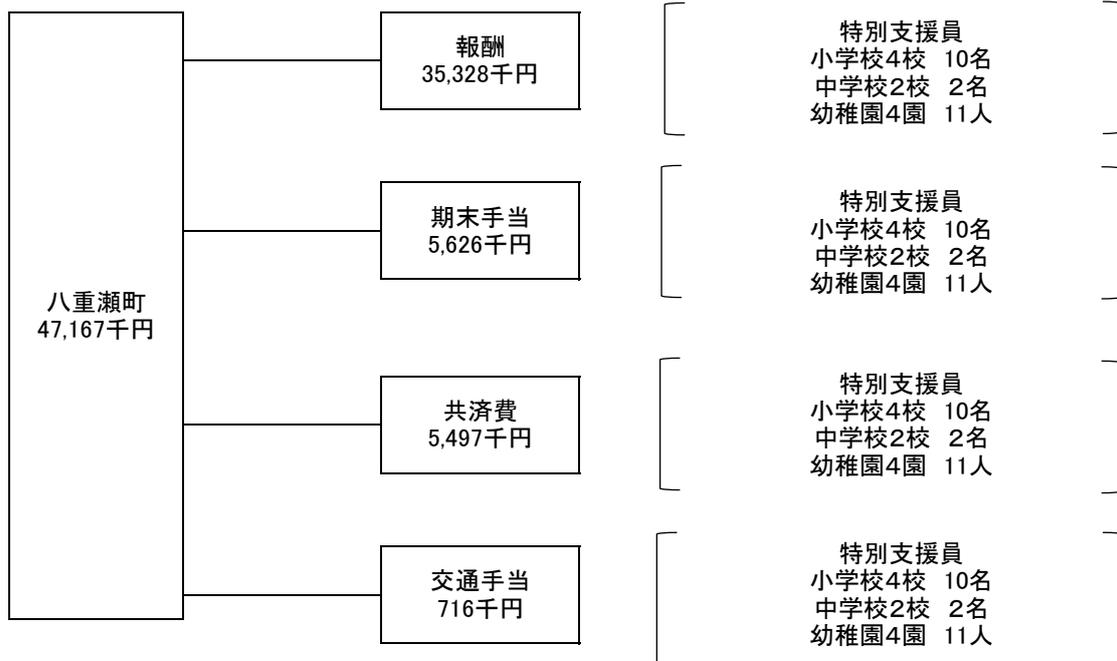
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 ・予算規模については、予定人数の確保ができなかったため減額をしたが、概ね適正な規模であった。 ・費用・用途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	八重瀬町特別支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	33,063	30,933	62,605	62,605	60,731
		(b) 予算現額	24,948	30,933	49,504	62,605	49,080
		(c) 増減額(b-a)	▲ 8,115	0	▲ 13,101	0	▲ 11,651
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		24,948	30,933	49,504	62,605	49,080
	B. 執行済額		24,948	20,631	42,474	39,108	47,167
	うち交付金充当額		19,958	16,505	33,979	31,286	37,733
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	66.7%	85.8%	62.5%	96.1%
予算の状況の説明		当初30人の配置計画であったが、人材確保ができなかったことや自己都合退職などがあり計画していた人員の確保ができなかったため、予算11,651千円を減額した。また、勤務実績に伴う報酬等の執行残があり1,913千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援員を15人配置 小学校4校:12人 中学校2校:3人	目標	(小学校14人 中学校6人)	(小学校14人 中学校6人)	(小学校14人 中学校6人)	(小学校12人 中学校3人)	
		実績	小学校14人 中学校2人	小学校14人 中学校4人	小学校11人 中学校3人	小学校10人 中学校2人	
	特別支援員を11人配置 幼稚園:11人	目標	(6人)	(16人)	(16人)	(11人)	
実績		5人	13人	11人	11人		
達成状況説明	当初は、小学校12人・中学校4人・幼稚園14人の計30人を計画していたが、人材確保が出来ず計画を変更した。また、年度途中からの雇用及び自己都合退職により、小学校10人・中学校2人・幼稚園11人の配置となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		91.56%	87.23%	82.84%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・保護者アンケートにおいて「特別支援員さんの対応に満足していますか?」の質問に対し、「とても満足している」「満足している」と回答した保護者の割合が82.12%で目標を上回った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する子どもたちが増え支援が行き届かないことや、複雑化する支援体制に支援員が対応できない現状にある。 人材不足のため、予定していた人員を配置することができなかった。 1,913千円の不用額が生じたことから、予算執行状況の把握と先を見越した予算流用が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場に適した人員配置の見直しが必要である。 研修会以外の支援員のスキルアップに繋がる取り組みが必要である。 計画した人員を確保するため募集方法等の検討が必要である。 予算の執行状況や今後の執行見込みを適宜把握する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 各幼稚園・小中学校の現状把握をし、現場に適した人員配置を図る。 意見交換会等、研修会以外にも支援員のスキルアップに繋がる取り組みを行う。 HPやSNS等を活用して募集をかけ、計画した人員の確保に努める。 不用額の縮減に向けて、予算執行状況を適宜把握し、減額や流用を適切に行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
47,167	47,167	37,733	9,434	0



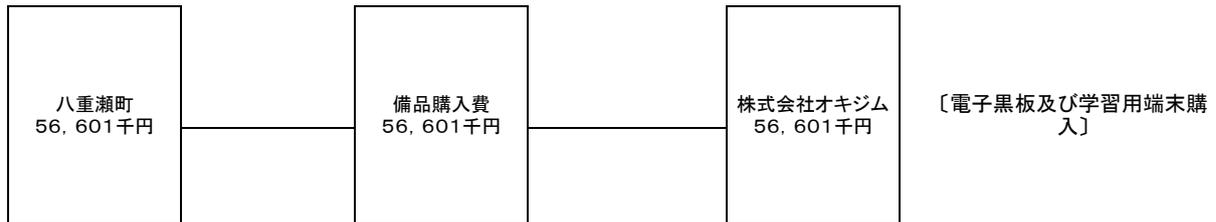
資金の流 れ、費 目 ・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 予算規模については、予定人数の確保ができなかったため減額をしたが、概ね適正な規模であった。 費用・使途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	ICT教育強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	各小中学校へ電子黒板等を設置することにより、ICT機器の活用を促進し、更なる学力向上を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
				4,908	2,904	6,044	63,037
				4,908	2,904	5,811	56,601
		0	0	0	▲ 233	▲ 6,436	
		0	4,908	2,904	5,811	56,601	
				4590	2789	5,810	56,601
				3672	2231	4,648	45,280
				0	0	0	0
		#DIV/0!	93.5%	96.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	ネットワーク整備については、文科省補助事業で実施可能となったため、計画を変更し予算5,133千円を減額した。また入札残により予算1,303千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	電子黒板等(6台) 電子黒板用パソコン(6台)	目標	(5 台)	(3 台)	(5 台)	(6 台)	
		実績	5 台	3 台	5 台	6 台	
	学習用端末(1,064台)	目標	()	()	()	(1,064 台)	
		実績				1,064 台	
達成状況説明	当初の予定通り、3小学校に対し電子黒板及び電子黒板用PC6台を設置した。 (白川小学校2台・具志頭小学校2台・新城小学校2台) また、学習用端末1,064台を小中学校6校に設置した。 (東風平小学校310台・白川小学校403台・具志頭小学校205台・新城小学校133台・東風平中学校7台・具志頭中学校6台)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	町内小中学校の全教室へ電子黒板及びパソコンを導入する。また、中学校に整備されている電子黒板は、校内ネットワークとの接続に対応していないため、一部の教室へ校内ネットワークとの接続可能な電子黒板等の整備を進める。 (R2年度の目標値:71%)	目標	()	()	()	(71%)	(100%)
		実績				71%	
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を目指す。	目標	(%)	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		89%	91%	91%	
進捗状況説明	・電子黒板等の導入については、R3年度までに目標としている207台を導入するため、R2年度は普通学級と特別支援学級へ6台整備した。 ・児童生徒にアンケートを実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は91%となり、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> これまで中学校に整備されている電子黒板は校内ネットワークとの接続に対応していなかったため、学習用端末等と連携することができる電子黒板の整備が必要となっている。 また、毎年児童生徒が増加していることから学習用端末の不足が懸念されている。 授業を効率的・効果的に行うために、児童生徒と同様の端末を教授用としても整備してほしいとの要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板及び児童生徒の学習用端末の不足分について、予算を確保する必要がある。 教授用端末の整備について、関係機関と調整する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板及び児童生徒の学習用端末の不足分については、関係機関と調整し早急に予算を確保できるよう取り組む。また教授用端末については、各学校とのヒアリング等を行い計画的に整備できるよう調整していく。 児童生徒へのアンケートを継続して実施し、満足度の向上を目指す(目標値:「授業がわかりやすくなった」と回答する割合が80%を超える)。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
56,601	56,601	45,280	11,321	0

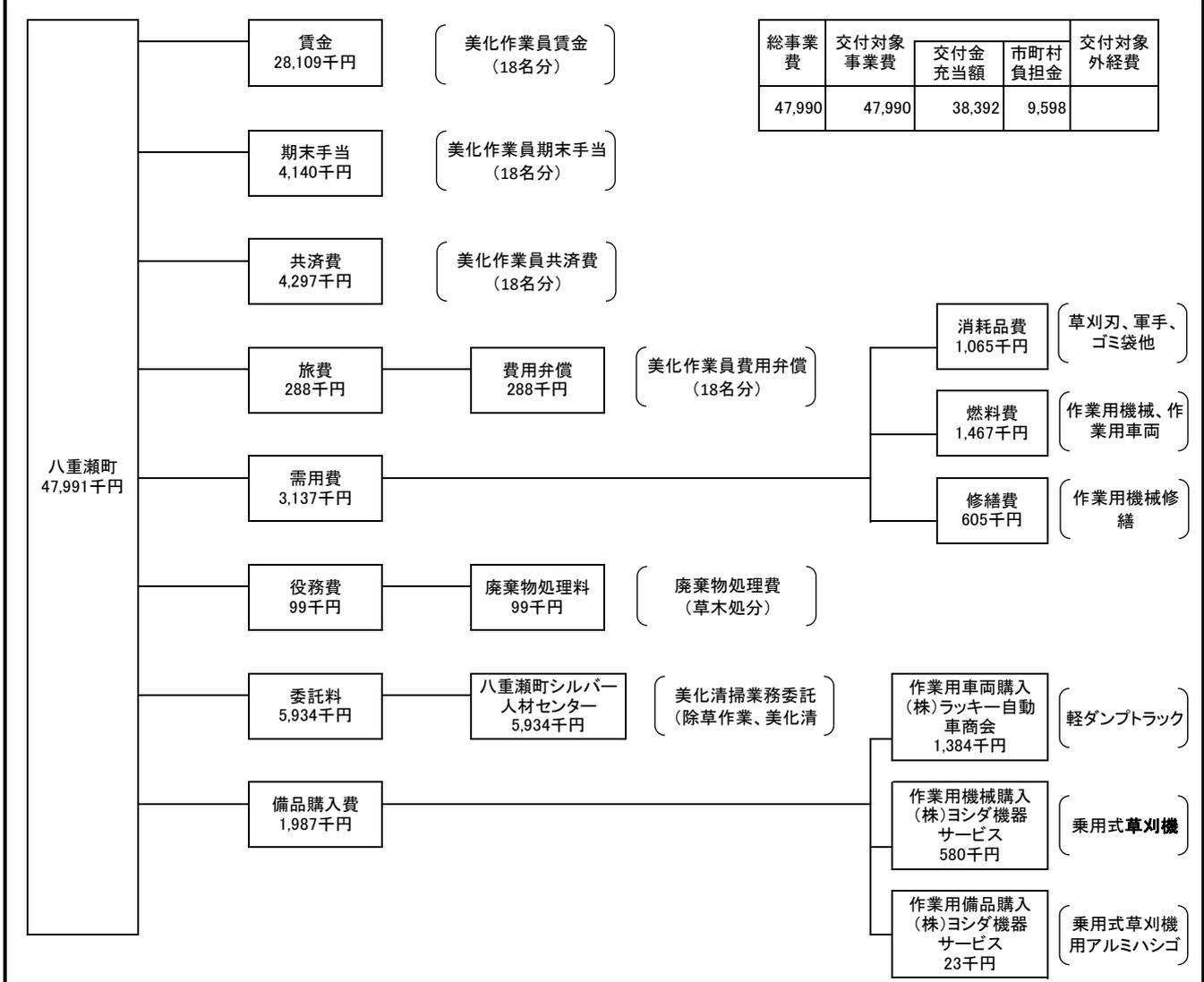


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、本町の過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担なし。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途について、電子黒板及び学習用端末の導入にあたり、必要なものに限定されている。

市町村名		八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②		八重瀬町観光地美化作業事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	経済建設部 都市整備課・土木建設課	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容		魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。					Ⅲ-1-(1)	
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		(a)当初予算額	54,487	54,355	53,808	54,457	57,401	
	(b)予算現額	52,988	52,855	53,808	48,057	48,338		
	(c)増減額(b-a)	▲1,499	▲1,500	0	▲6,400	▲9,063		
	(d)繰越額							
	A.計(b+d)	52,988	52,855	53,808	48,057	48,338		
	B.執行済額	52,015	47,591	48,087	46,178	47,991		
	うち交付金充当額	41,612	38,073	38,469	36,942	38,392		
	次年度繰越額	0						
	執行率(%) (B/A)	98.2%	90.0%	89.4%	96.1%	99.3%		
予算の状況の説明		作業員を募集したが、計画人数に達しなかったことや年度途中における作業員の退職等により、予算9,060千円を減額した。また体調不良による欠勤等により347千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地 :13箇所 アクセス道路 :45路線		目標 (美化作業の実施)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)	(13箇所 45路線)		
			実績	美化作業の実施	13箇所 45路線	13箇所 45路線		
			目標	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		観光地や施設(13箇所)及びアクセス道路(45路線)の美化作業(草木の伐採等による景観美化の管理)を計画どおりに実施し、優先順位や必要性の高い場所等の検討及び調整をしながら定期的に行えたことにより、安心安全な観光客の受入態勢を整えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		98%	90%	96%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が96%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 夏場は草木の成長が著しく、通常の作業員では作業が間に合わない。また、作業機械に負担をかけるため修理等が多くなる。 梅雨や台風などの天候悪化により作業効率が低下する。 気温の高温化による作業員の体調面への負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 繁忙期や閑散期など時期に応じた効率のよい作業計画の作成や除草剤の適切な使用により作業日数等の調整を行う。 適宜休憩をとり、こまめに水分を補給するなど作業量の調整を行う。 作業機械の使用状況を整理し、新規の備品購入を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 施設利用やイベントでの利用時期を関係課と調整し、美化作業の作業場所や路線を効率よく計画し快適な利用状況を維持する。 安全対策の徹底や作業員同士で体調管理の確認を行い作業中の事故を防止するとともに除草剤での作業を効率よく行う。 観光施設の緑化(草花)等も検討し観光地としての質の向上を図る。 計画的に作業機械を更新するため、関係課と予算確保に向けた調整を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

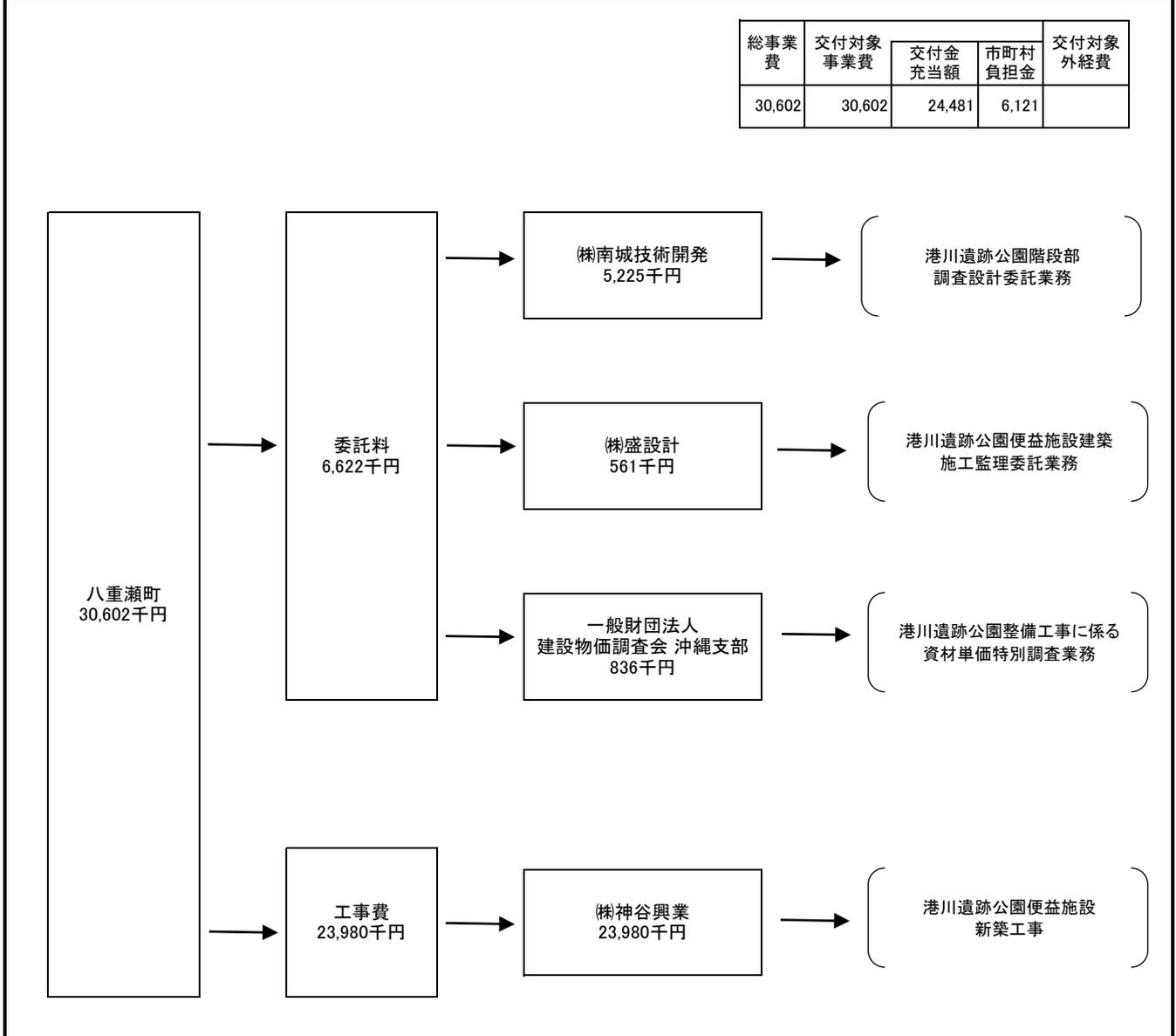


資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積もり及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であるとする。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認をし適正であるとする。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	港川フィッシャー遺跡整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備			
事業内容	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人のみとなっており、貴重な資料となっている。こうした港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育および観光資源としての活用に向けて、周辺整備を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a)当初予算額		11,297	18,925	64,320	107,453	
		(b)予算現額		5,044	6,998	61,163	30,602	
		(c)増減額(b-a)		▲6,253	▲11,927	▲3,157	▲76,851	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)		5,044	6,998	61,163	30,602	
		B.執行済額		4839	6932	61,160	30,602	
		うち交付金充当額		3870	5545	48,928	24,481	
		次年度繰越額		0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)		95.9%	99.1%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	伐開したところ、新たな埋蔵文化財や採石事業の痕跡の可能性があり、確認調査が必要となったため、予算75,189千円を減額した。また、入札残により予算1,662千円を減額した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	港川遺跡公園便益施設新築工事	目標	()	()	()	(実施)		
		実績				実施		
	港川遺跡公園便益施設建築施工監理委託業務	目標	()	()	()	(実施)		
実績					実施			
達成状況説明	当初整備工事を予定したが、新たな埋蔵文化財や採石事業の痕跡の可能性が高い箇所が見つかり、整備工事を翌年度完了へ延伸し、便益施設新築工事施工した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)	
	港川遺跡公園便益施設新築工事の完了	目標	()	()	()	(完了)	()	
		実績				完了		
	【R3成果目標】観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する(満足度80%以上)		目標	()	()	()	()	(80%以上)
			実績					
進捗状況説明	港川遺跡公園実施設計を基に、計画どおり建築工事を完了した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>工事進めるためには、国道取付け申請の手続きが必要となるため関係機関担当者と協議を行って施工することが必要である。</p> <p>公園を開放することにより便益施設(トイレ)、芝生・雑草等の管理が必要となる。</p>	<p>便益施設(トイレ)や芝生・雑草等の管理については、他の公共施設等の維持管理業務を含めて、全体的に効率よく管理運営できるよう協議する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>令和3年度港川遺跡公園整備工事を完了し、公園施設を開放する。</p> <p>工事完了後、効率的な施設の管理運営を実施し、観光客や公園利用者の利便向上を図る。</p> <p>八重瀬町歴史民俗資料館や近隣の観光地との周遊ルートの構築を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

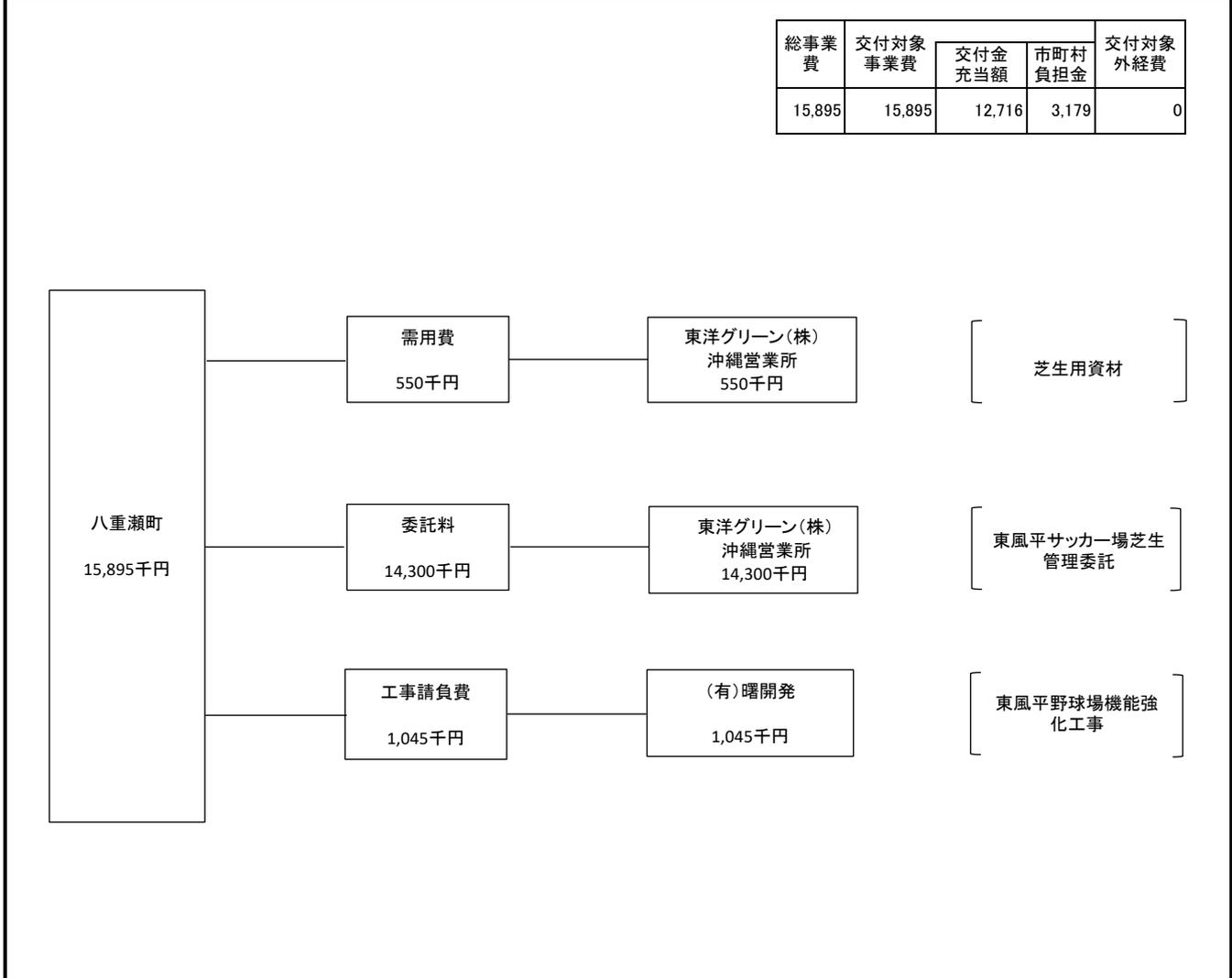


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に従って選定されており妥当である。</p> <p>○不用額はなかったので予算規模は適正であった。</p> <p>○受益者負担なし。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定され、工事・委託検査の際の支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	運動公園施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。令和2年度においては、東風平サッカー場等の芝生管理委託業務、東風平野球場グラウンドの機能強化工事を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	24,904	20,771	24,600	82,155	61,949
	(b) 予算現額	24,904	20,771	24,600	114,231	15,994	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	32,076	▲45,955	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	24,904	20,771	24,600	114,231	15,994	
	B. 執行済額	24,559	20,136	24,332	112,780	15,895	
	うち交付金充当額	19,647	16,109	19,465	90,224	12,716	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	96.9%	98.9%	98.7%	99.4%	
予算の状況の説明	野球場の防球ネットを整備する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、資材の納期に遅延が生じる見込みとなったため、予算45,955千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	サッカー場プロ仕様芝生整備	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
野球場グラウンド機能強化工事	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 東風平サッカー場においては、プロ仕様による芝生管理を行うことで冬場のサッカーキャンプの際に良好な状態で芝生を維持することが出来た。 東風平野球場においては、グラウンドの機能強化を図り、野球キャンプの受入れ環境の整備を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	野球キャンプの受入れ(5件以上)	目標	()	(6件以上)	(5件以上)	(5件以上)	()
		実績		5件	1件	3件	
	サッカーキャンプの受入れ(3件以上)	目標	()	(4件以上)	(3件以上)	(3件以上)	()
実績			6件	4件	2件		
進捗状況説明	【野球キャンプ】当初キャンプ予定していた海外プロ野球チーム、県外大学チーム、県外高校チームにおいて、新型コロナウイルス感染症による県内への渡航制限等によりキャンプの実施が困難となった事で、成果目標を達成することが出来なかった。キャンプ実績としては、昨年度に引き続き県内チーム(琉球ブルーオーシャンズ)と県外大学チームとプロ野球の自主トレーニングとして複数の選手がキャンプを行った。【サッカーキャンプ】当初キャンプを予定していたJリーグチームは観客を無観客とし、予定通りキャンプを行ったが、女子プロサッカーチームは新型コロナ感染症による渡航制限に伴い、キャンプを実施することが出来なかった。キャンプ実績としてはJリーグの2チームがキャンプを行った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	サッカーキャンプ誘致における芝生管理について、これまで継続して芝生管理を行った結果、土壌の硬さが改善されたことから、キャンプチームより来年度以降についても同様な芝生管理を行うように要望があった。このことから今後においても土質の分析等を行いながらさらなる土壌の機能強化に努めたい。	サッカー場の施設環境については、芝生管理を継続してきた結果、土壌の硬さが年々改善されていることから、キャンプチームからも同様な管理方法を継続するよう要望がある為、今後も同様な芝生管理委託を行う必要がある。 野球場については、既存施設を生かしながら更なる機能強化の整備を図りつつ、キャンプ受入チームからの要望にも対応できるような取り組みやすい環境を整える。
	野球キャンプについては、グラウンドの機能強化を行った結果、練習の際の選手の怪我を未然に防ぐ効果があった。しかし、成果目標で設定したキャンプ件数には届かなかった為、キャンプ時期の検討及びキャンプ球団の誘致を積極的に行う必要がある。	
今後の取り組み方針		
サッカーキャンプにおいては、継続的な芝生管理を行うことで、施設環境を整えたい。 野球場においては、引き続きプロ仕様へ対応出来るよう既存施設を生かしながらの機能強化を図りたい。又、キャンプ誘致を図るため、共通して受入れチームの要望に対応出来るよう職場体制を強化し、知名度の高いキャンプチームを固定し誘致することで八重瀬町への観光客の増加につなげたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○東風平サッカー場芝生管理委託は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。 ○東風平野球場機能強化工事は国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○受益者負担なし。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 八重瀬町サッカーキャンプ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	国際的な沖縄観光ブランドの確立		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)		
担当部署名	経済建設部 観光商工課 教育委員会 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度			
事業内容	Jリーグ加盟等のサッカーチームのキャンプを誘致し、観光誘客とキャンプ来場者の町内周遊を促す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	9947	2,045	8,955	11,304	5,906
	(b) 予算現額	10343	5,564	8,955	11,304	4,933	
	(c) 増減額(b-a)	396	3,519	0	0	▲ 973	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	10,343	5,564	8,955	11,304	4,933	
	B. 執行済額	10056	4685	656	3,975	4,885	
	うち交付金充当額	8045	3747	524	3,179	3,908	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	84.2%	7.3%	35.2%	99.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外チームの受入が中止となり、無観客での開催となったことから警備委託の縮小等により予算973千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	Jリーグ加盟チーム受け入れ	目標	(2チーム)	(2チーム)	(2チーム)	(2チーム)	
		実績	1チーム	3チーム	2チーム	2チーム	
	海外プロサッカーチーム受け入れ	目標	(1チーム)	(1チーム)	(1チーム)	(1チーム)	
		実績	1チーム	2チーム	2チーム	0	
達成状況説明	キャンプ受け入れの内訳として、今年度はJ1チーム「サガン鳥栖」とJ2チーム「京都サンガ」の計2チームのキャンプ受け入れとなった。また、新型コロナウイルス感染拡大により海外チームの受け入れは中止となり、目標とする3チームの受け入れの誘致数には達成しなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	(10,000人以上)	(10,000人以上)	(10,000人以上)	(5,000人以上)
	キャンプ期間中來客者数(10,000人)	実績		2,613人	2,898人	0	
		目標	()	(3チーム以上)	(3チーム以上)	(3チーム以上)	(3チーム以上)
	Jリーグ加盟チーム2チーム以上・海外プロサッカーチーム1チーム以上の計3チーム以上のキャンプ受入れ	実績		6チーム	4チーム	2チーム	
		目標	()	(370万以上)	(250万以上)	(150万以上)	(150万)
キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額(150万円以上)	実績		—	121.4万円	82.5万円		
	進捗状況説明	・今年度は新型コロナウイルス感染症による影響で、無観客でのキャンプ開催が決定し、誘客を図ることが難しかった。また、目標とするJリーグ2チームの誘致は達成したが、海外からの受け入れは中止となり、目標とするチームの誘致数は下回った。 ・本町サイトのSNSを活用しキャンプの様子を発信することで、チーム関係者やチームサポーターが本町を知るきっかけ作りに繋がった。特に、キャンプを終えた現在においてもチームサポーターとのSNSを通じたやり取りは続いており、他県へと本町をPRするいい機会となった。 ・本町PRとして、サッカーキャンプ応援冊子(町内周遊ツール)を配布し、キャンプを応援しながら、町内での消費を促す取り組みを行ったが、急遽無観客でのキャンプ開催が決定し、冊子を活用した消費額は目標に達しなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りのスポーツキャンプとはならなかった。特に、キャンプ直前で無観客開催が決定となり、観光誘客数、町内周遊額ともに目標としている数値には達成しなかった。昨今の状況を踏まえ、スポーツイベントに対する取り組みの方法を検討する必要がある。</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、SNSや非接触型アプリケーション等を活用した取り組みを検討し、本町のPR並びにスポーツキャンプを盛り上げることで、さらなる地域活性化を図る。</p>
	<p>・経済効果等を把握するために取り組んだ周遊ツールについては目標額には達成できなかったものの、82.5万円の経済効果があることが計測できた。次年度はさらなる効果的な取り組みとなるように努めていく必要がある。</p>	<p>・次年度においては今年度作成した冊子の経験を踏まえて、製作期間や配布期間、周知期間を長くとれるような体制で取り組むために、早期にサッカーキャンプ受け入れの機運醸成を図る。</p>
	<p>・キャンプ期間中、チームによっては急遽練習日程が変更したり、練習試合が決定する場合があるため、柔軟な対応を要する。</p>	<p>・チームとの事前調整の中で、互いの要望等を確認し、関係する団体や、町内事業所、委託業者等が臨機応変に対応できるよう取り計らう。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・県と調整して誘致するチームを検討、決定し、継続して誘致活動を推進することで、キャンプの定着化を図る。</p> <p>・周遊ツールによる経済効果等の把握に向けた取り組みについては継続して実施していく。従来よりキャンプを行うチームの決定が年末年始とギリギリであることから、短期間でキャンプの実施にかかる周知広報が可能な手法がないか検討し、町内消費及び事業効果の拡大を図る。</p>		

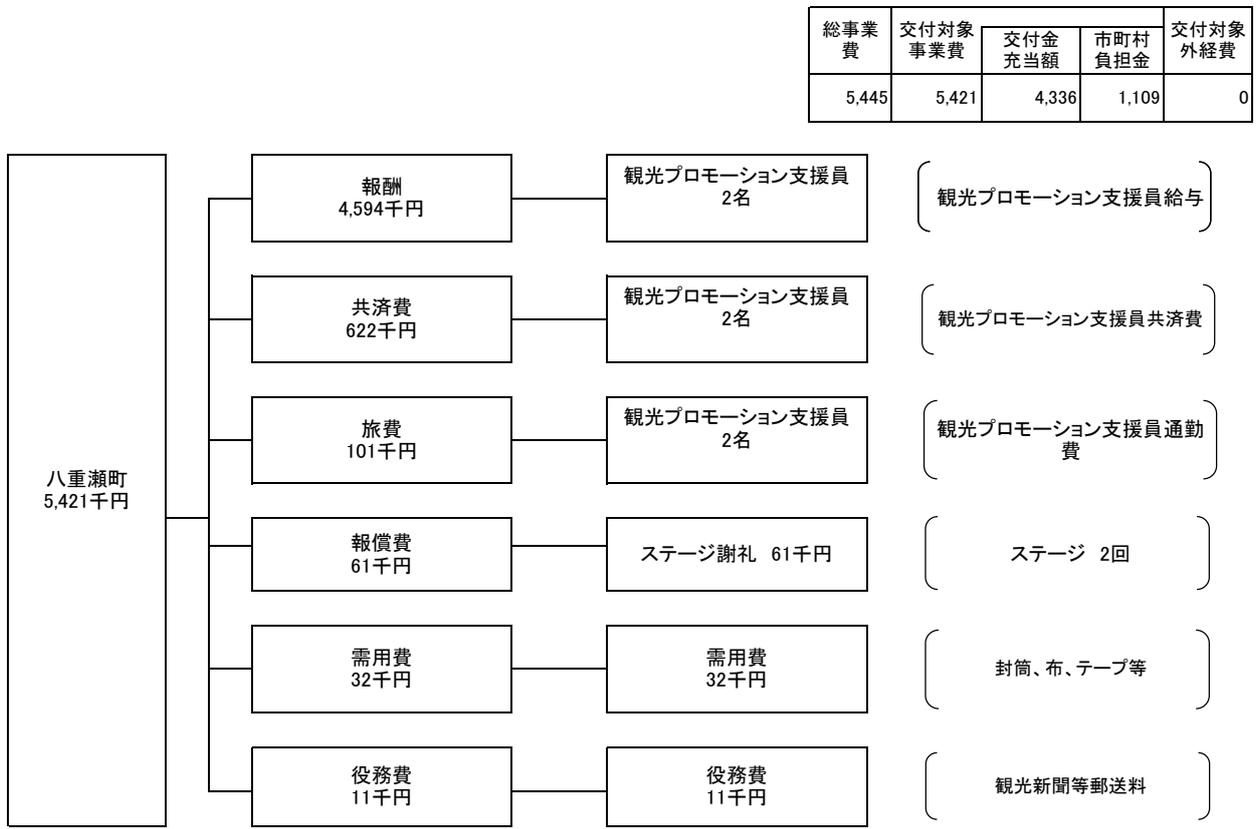
資金の流れ													
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,885</td> <td style="text-align: center;">4,885</td> <td style="text-align: center;">3,908</td> <td style="text-align: center;">977</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,885	4,885	3,908	977	0	<pre> graph LR A[八重瀬町 4,885千円] --- B[旅費 275千円] A --- C[需用費 451千円] A --- D[委託料 3,443千円] A --- E[備品購入費 391千円] A --- F[リース料及び賃借料 325千円] B --- B1[キャンプ事前調整旅費] C --- C1[告知幕、案内看板] D --- D1[琉球警備保障(株)] D --- D2[(株)近代美術] E --- E1[(有)オフィスパートナー] E --- E2[東洋グリーン(株)] F --- F1[(有)曙開発] F --- F2[リース料] D1 --- D1_1[キャンプ時の警備] D2 --- D2_1[誘客プロモーション] E1 --- E1_1[テーブル、イス] E2 --- E2_1[エアークンプレッサー] F1 --- F1_1[キャンプ足場リース] F2 --- F2_1[仮設トイレ] </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
4,885	4,885	3,908	977	0									
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>点検項目</th> <th>評価に関する説明</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>支出先の選定方法は妥当か。</td> <td rowspan="4"> <p>○予算執行については、八重瀬町契約規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○受益者負担なし。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>受益者との負担関係は妥当であるか。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td> </tr> </table>	評価	点検項目	評価に関する説明	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○予算執行については、八重瀬町契約規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○受益者負担なし。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
評価	点検項目	評価に関する説明											
○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○予算執行については、八重瀬町契約規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○受益者負担なし。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>											
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	八重瀬町観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済建設部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		11,999	10,111	5,031	20,617	6,178
			11,276	10,111	5,208	8,413	5,508
			▲ 723	0	177	▲ 12,204	▲ 670
			-	-	-	-	-
			11,276	10,111	5,208	8,413	5,508
		B. 執行済額					
		9,020	6,888	3,912	4,884	4,336	
		0	0	0	0	0	
		100.0%	85.2%	93.9%	72.6%	98.4%	
	予算の状況の説明 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当初予定していたイベント内で集客のためのプロのミニステージ出演を取りやめたことやハロウィンイベントを中止にしたことにより予算670千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光プロモーション支援員の配置(2人)	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	2人	2人	2人	
	八重瀬町プロモーションの企画提案実施(6回)	目標	(3回)	(3回)	(6回)	(6回)	
		実績	6回	13回	16回	17回	
SNS等による八重瀬町観光情報の発信(100回)	目標	()	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)		
	実績		233回	561回	618回		
	達成状況説明 ・観光プロモーション支援員を2名配置し、八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用したプロモーションや、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客イベント等、支援員が企画提案・運営管理する観光プロモーションを17回実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが11月まで開催できなかったため、SNSでゆるキャラのぬりえコンテストやダンスコンテストの開催、またYoutubeの開設などのゆるキャラを活用した情報発信を強化した。 ・既存の町ガイドの会とともに町内のまち歩きを生配信で行うなどSNSを活用した情報発信力を拡充した。 ・町をPRできる事業所やひとを取材し、「やえせ観光新聞」を新たに作成発行、観光新聞をSNSで発信、また県内観光施設へ配布し観光PRを行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	主要観光施設の入域観光客数(290,000人)	目標	()	(210,000人)	(250,000人)	(290,000)	()
		実績			約263,000人	約267,000人	約230,000人
		進捗状況説明 ・年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、南の駅やえせでのイベントが11月まで行えなかったこと、南の駅やえせの営業時間が短縮されたこともあり集客が伸び悩んだ。12月以降、コロナ対策を行いイベントを実施し誘客につとめたが目標であった観光客の目標数値は79%に止まった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>取組の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」の来場者数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光客が前年度より減った。 ・11月まで新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントを自粛した。12月以降は、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」で、集客をともなうイベントは、屋外のみ開催した。感染症拡大防止のためステージは集客を見込めるプロの大道芸人を取りやめ、住民参加型へ変更し、誘客そのものを抑えた。 ・当初予定していた集客をともなうイベント減らし、SNSでの情報発信に注力したこともあり、県外・国外の方からのコメントが増えた。 ・イベント等を実施するには施設内の駐車場が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光プロモーション企画について、継続してイベントを開催するためウイルスの感染防止に対応したマニュアルを国や県、他市町村を参考に作成する。 ・SNSから八重瀬町への誘客につなげる効果的な企画の作成を行う。 ・南の駅やえせでのイベント時に駐車場が不足していたため、イベント時に限り近隣公共施設や民間事業所、私有地の敷地を交渉し借用した。今後、新型コロナウイルス感染症が終息しイベントが増えること踏まえ、駐車場の拡張に向けた協議を行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・南の駅やえせでのイベント開催時や町内観光スポットの駐車場不足について、近隣施設等と借用調整及び新規駐車場を検討し駐車場不足の解消に努めていく。 ・SNSでの情報発信を強化し、国内外へ観光プロモーションを行っていく。 ・観光プロモーション企画について、ウイルス感染防止のマニュアルを作成し、ウイルス蔓延の際にはマニュアルに従って対応する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



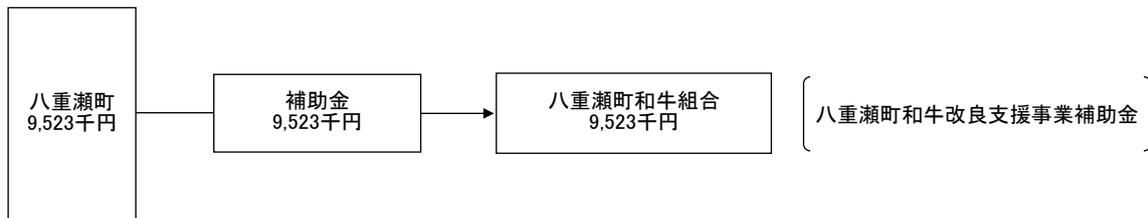
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○八重瀬町契約規則に基づき予算執行しているため妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者負担なし。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-I-(6)	
事業内容	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	12,000	12,000	12,000	12,000	10,000
	(b)予算現額	12,000	12,000	12,000	12,000	10,000	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	12,000	12,000	12,000	12,000	10,000	
	B.執行済額	11,734	11,787	11,825	11,908	9,523	
	うち交付金充当額	9,387	9,430	9,460	9,526	7,618	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	97.8%	98.2%	98.5%	99.2%	95.2%	
予算の状況の説明	八重瀬町和牛組合への補助金である。不用額477千円はセリにて雌牛を導入した際の残額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良母牛導入頭数:25頭		目標 (30頭)	(30頭)	(30頭)	(25頭)	
			実績 32頭	31頭	31頭	25頭	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	令和2年度において、優良母牛を25頭導入し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(115%以上)		目標 ()	(112%以上)	(115%以上)	(115%以上)	()
			実績	105%	115%	110%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合は110%となり、目標を達成できなかった。 【R2年度セリ結果(R2.4月～R3.3月)】 ・導入牛以外の子牛 平均611,724円 ・導入牛(H26年度～R2年度)の子牛 675,280円						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルスの影響で、飲食店が閉店・時間短縮営業を行ったため、和牛の需要が減少し、全体のセリ価格が下落した。</p>	<p>・導入牛は環境や飼育状況によって受胎率が変わってくるため、受胎率の低い農家に対して、その牛に適した飼養管理を関係機関と連携し、指導していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・導入牛の受胎率が低い雌牛については農家に対して定期的に獣医師による受診を促し受胎率の向上を目指す。また、その雌牛に適した飼養管理を関係機関と連携し指導を行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,523	9,523	7,618	1,905	0



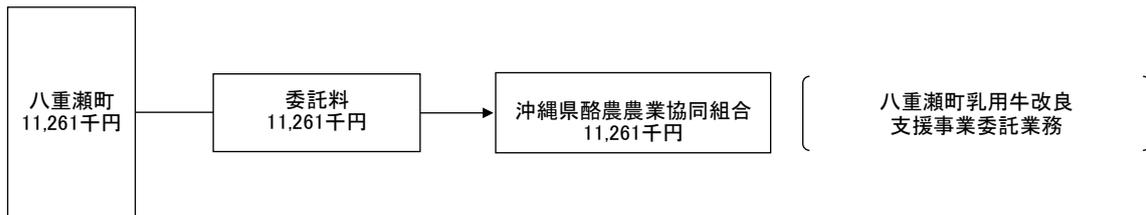
資金の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町の補助金関係の例規・要綱に従い選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により精査確認し適正であった。

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	乳用牛改良支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-I-(6)		
事業内容	農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		12,000	12,000	12,000	12,000	
			12,000	12,000	12,000	12,000	
			0	0	0	0	
			-	-	-	-	
	B. 執行済額	12,000	12,000	10,884	11,261		
	うち交付金充当額	9,600	9,600	8,707	9,008		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	90.7%	93.8%		
	予算の状況の説明	沖縄県酪農農業協同組合への委託している。 不用額739千円はセリにて雌牛を導入した際の残額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良母牛導入頭数:30頭	目標	(30頭)	(30頭)	(30頭)	(30頭)	
		実績	30頭	30頭	30頭	30頭	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	令和2年度において、優良乳用牛を30頭導入し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	優良母牛導入頭数:30頭	目標	()	(3,542,000kg)	(3,947,000kg)	(3,960,000kg)	(4,680,000kg)
		実績		3,872,799kg	4,379,475kg	4,164,070kg	4,484,305kg
	【参考指標】	目標	()	(3.95%)	(4.12%以上)	(4.12%以上)	(4.0%以上)
実績			3.93%	3.87%	3.92%	3.97%	
進捗状況説明	生産乳量については、実績が4,484,305kgとなり、目標を下回った。 乳質(脂肪率)については、実績が3.97%となり、目標を下回った。 【令和2年度の乳量・乳質結果(R2.4月～R3.3月)】 ・乳量(12戸):合計4,484,305kg 平均37,362kg ・乳質(12戸):平均3.97%						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	乳量・乳質が目標に達しなかった要因として、天候や気温に影響を受けたものと想定される。 乳用牛は暑さに弱いため、高温による乳量の低下、体調不良による乳質の低下が考えられる。	天候や気温の影響を受けないよう飼養管理を農家に対して指導し、引き続き農家の意識向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
乳量・乳質を向上させるため、天候や気温の対策を関係機関と連携して農家指導に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,261	11,261	9,008	2,253	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、地方自治法及び本町の財務規則等に従って選定されており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の規模は、事業内容に即した適正額であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は、導入経費の2分の1を負担しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、支出等に関する書類により精査確認し適正であった。

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒のスポーツの意識を高めることを目的として、トップアスリートによるスポーツ教室等を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、県外で実施される各種大会へ派遣される際の旅費支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	3,075	3,427	4,878	4,879	4,879
	(b)予算現額	5,358	4,427	5,150	4,879	1,279	
	(c)増減額(b-a)	2,283	1,000	272	0	▲3,600	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	5,358	4,427	5,150	4,879	1,279	
	B.執行済額	3,929	4,365	4,950	3,199	957	
	うち交付金充当額	3,143	3,492	3,492	2,559	765	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	73.3%	98.6%	96.1%	65.6%	74.8%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症による影響から大会の中止等により児童生徒県外派遣の申請数が減少したことや水泳クリニックの中止により、予算3,600千円を減額した。また、同様の理由により不用額(322千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	バスケットボールクリニックの開催	目標	()	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績		開催	開催	開催	
児童生徒の県外派遣費の助成	目標	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)		
	実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 水泳クリニックは委託先において新型コロナ感染症の影響等により日程調整が出来なくなり、計画を変更した。 バスケットボールクリニックは町内中学校生を対象にプロバスケットボール選手であった伊集南さんによるクリニックを新型コロナウイルス感染症の対策として2日間に分散して開催した。 児童生徒の県外派遣費の助成を13件実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について、アンケートにより検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95%	90%	97%	
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
実績			82%	100%	84%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へアンケートを実施した結果、児童生徒のスポーツへの意識が高まったとの回答が97%となり、目標を達成した。 派遣された児童生徒の保護者へアンケートを実施した結果、県外大会に派遣されることにより広い視野を持つことが出来たとの回答が84%となり、目標を達成した。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 水泳クリニックの日程調整において委託先との調整が度重なる新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより開催が困難となり、未開催となった。未開催の要因は委託先の事業計画との調整が付かなかった事と、委託先の講師及び指導者の人員が確保出来なかった事も要因である。 児童生徒の県外派遣費の助成においては新型コロナウイルス感染症により県外大会が中止となった影響もあり申請件数が減少し、不用額が生じた。予算執行状況をその都度把握し、計画的に変更申請を行えなかった事が不用額の要因である。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクリニックの開催に向けては、委託先との事業計画等を前年度から日程調整を行うことを検討する。又、講師及び指導者の確保についても十分に検討する必要がある。 不用額については、予算執行状況の把握に努め、計画的な予算流用及び変更申請を行うことが必要である。

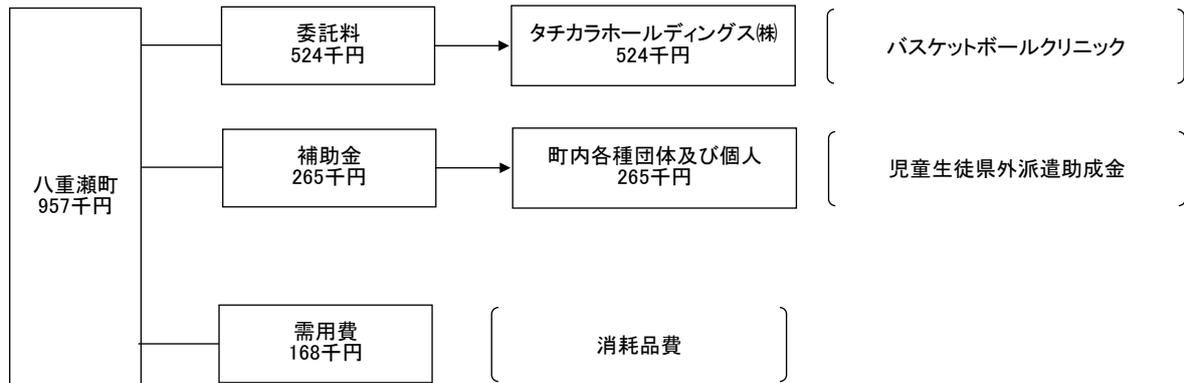
今後の取り組み方針

・スポーツクリニックを開催するには前年度より委託先との日程調整を行うとともに、予めせめ事態により日程調整が必要となった場合においても密に調整を行うよう連絡体制の強化を行う。又、講師及び指導員の確保においても十分に調整を行う。

・不用額の縮減については、予算執行状況を随意把握し、変更申請にて流用及び減額等の検討を行うように努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
957	957	765	192	0



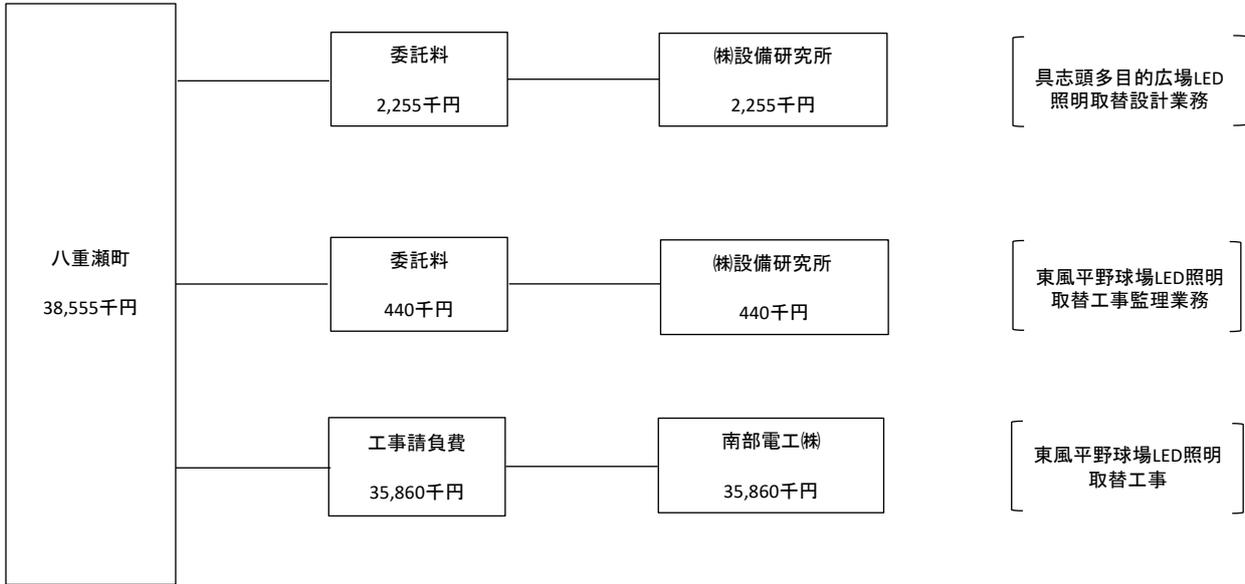
資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額については、新型コロナウイルス感染症の影響で県外派遣の申請数が減少した為、不用額が生じた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については受益者である町内各種団体及び個人について航空費の5割を負担しており妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は委託料及び事業執行の為の消耗品費であり、必要経費と考える。

市町村名		八重瀬町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	運動公園省エネ化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため省エネ化の推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) <input type="checkbox"/>						
実施方法	■直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>						
予算額・執行額【単位:千円】 〔「交付金」+「市町村負担」ベース〕		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	32,000	28,821	56,700	50,890	39,493
		(b)予算現額	23,157	28,821	69,580	50,890	38,665
		(c)増減額(b-a)	▲ 8,843	0	12,880	0	▲ 828
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	23,157	28,821	69,580	50,890	38,665
		B.執行済額	22,949	18,272	68,050	32,171	38,555
		うち交付金充当額	18,359	14,618	54,440	25,736	30,844
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.1%	63.4%	97.8%	63.2%	99.7%
	予算の状況の説明	工事請負費の入札残により予算828千円を減額した。また委託料の入札残により不用額(110千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・東風平運動公園野球場のLED照明設置 ・具志頭運動公園(多目的広場・外灯・トイレ)のLED照明設置に係る設計	目標	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	
		実績	設置	設置	設置	設置	
	達成状況説明	目標	()	()	()	()	
実績							
委託料においては具志頭多目的広場のナイター照明及びトイレ、外灯の設計業務を事業期間内に完了することが出来た。又、工事請負費においても、東風平野球場のナイター照明をLED照明への取替工事を事業期間内に完成することが出来た。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	東風平運動公園野球場の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量3.3t/月	目標	()	(6.9t)	(4.7t)	(3.3t)	()
		実績		78.0t	2.7t	3.3t	
	進捗状況説明	目標	()	()	()	()	()
		実績					
成果目標の設定については前年度の設計業務の際の二酸化炭素排出量計算より算出しており、本工事を行うことで既存照明の6t/月排出するところ、LED照明に取替することで、2.7t/月の二酸化炭素排出量となることから、その差3.3t/月の二酸化炭素排出を削減できることとなる。よって本工事を完成したことから成果目標を達成することが出来た。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	委託料について、設計業務の発注時期の影響の為、入札残が生じた。	事業執行にあたり委託及び工事の発注時期を早期に行い、入札残等を早めに把握することで計画的に変更申請にて減額を検討することができる。
今後の取り組み方針		
公共施設のLED化を町広報誌へ掲載し、町民へ周知することにより、環境に対する意識向上を図る。又、事業執行にあたっては不用額を未然に防ぐため、計画的に変更申請にて減額等の対応を行い、不用額の縮減に努めたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
38,555	38,555	30,844	7,711	0

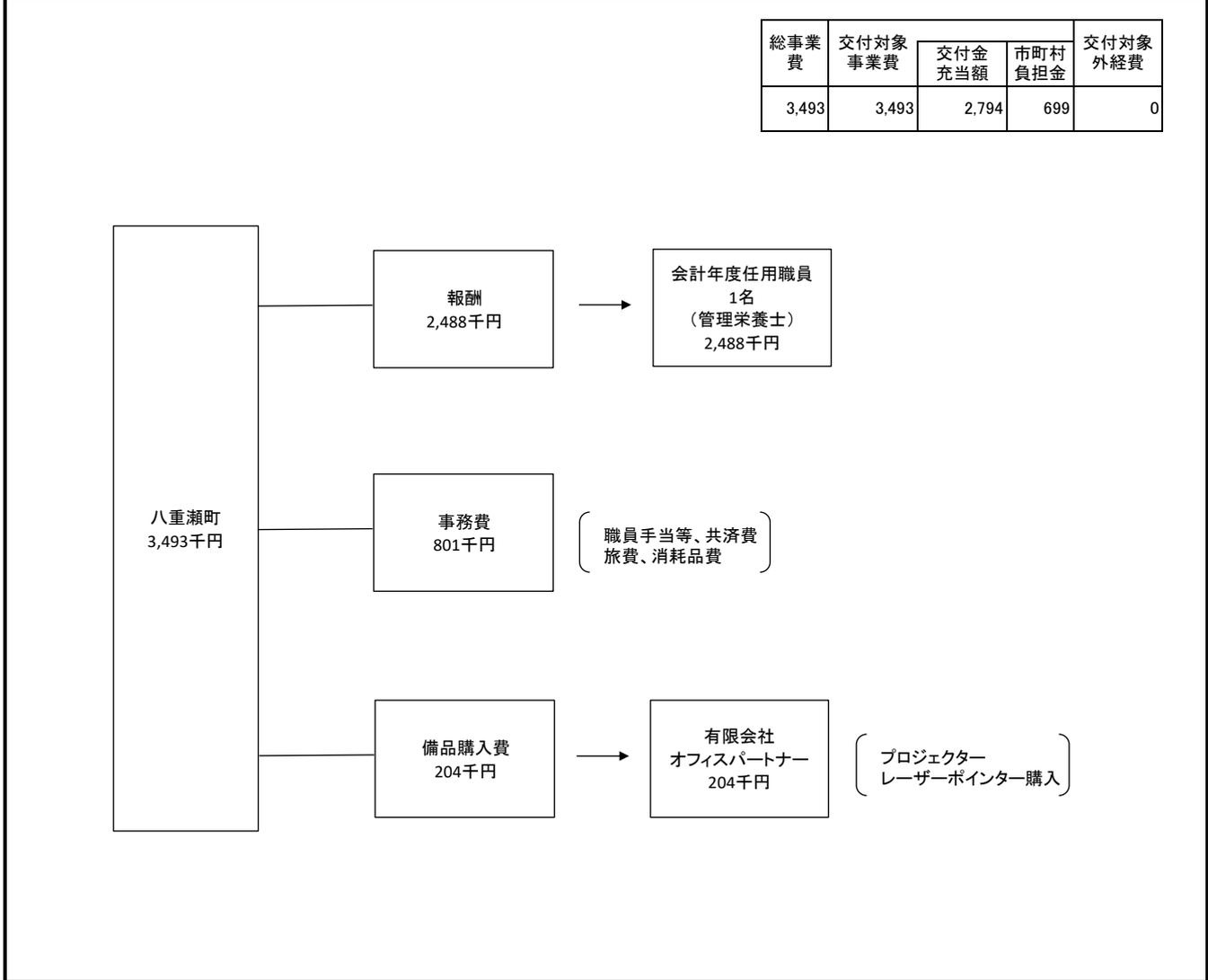


資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当である。委託業務については地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており妥当である。 ○受益者負担なし。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を実施しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	若い世代からの健康づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和元～3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4		
事業内容	現在実施している健康相談や育児教室等にて、実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、住民が自身の食事に興味を持ち、食事バランスや量など現状の食生活を見直すきっかけとし、日頃の食生活で「考えて食べる」事を意識化できるように事業を展開することで、生活習慣病を予防し、健康長寿八重瀬町をめざす。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,717	3,598			
		(b) 予算現額	6,717	3,598			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	6,717	3,598				
	B. 執行済額	6,591	3,493				
	うち交付金充当額	5,272	2,794				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.1%	97.1%				
予算の状況の説明	概ね計画どおりに執行できた。不用額105千円については、会計年度任用職員の共済費の残額や消耗品数量の減などによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	目標	(事業の展開)	(事業の展開)	()	()	
		実績	事業の展開	事業の展開			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・健康相談・健康教室・育児教室等の各保健事業の中で、食育SAT体験を58回実施(食育SAT体験者数は575人)し、日頃の食生活における意識の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実績		92%	95%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	○食育SATシステム体験後に参加者の食に関する意識や健康観の向上が図られたかをアンケートにて調査した。263名からの回答を集計した結果、95%の参加者が「食事を改善したい」との回答が得られた。また、自由記載の欄では「奥さん任せにしていたが自分で考える機会になってよかった」「自己管理に役立てたいと思った」など、肯定的な意見が聞かれた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○アンケート調査の結果から、約9割の方がこれまで受けた栄養相談(指導)と比較して、食育SATシステムを活用した栄養相談の方が分かりやすかったと回答していた。食育SATシステムを活用することで、理解しやすい事業を展開することができたと考えられる。</p> <p>○R2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、予定していたミニデイや保育園の保護者会など、地域への事業展開の中止、プロジェクターを活用しての集団健康教室も開催することが難しく、2回にとどまった。</p>	<p>○引き続き、食育SATシステムやフードモデルを活用した事業を展開する。</p> <p>○感染症対策を強化した上でどのように事業を展開するか検討が必要である。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、感染症対策を強化したうえで、</p> <p>①地域(ミニデイサービスや保育園の保護者会等)への食育SATシステムの活用を検討する。</p> <p>②集団での健康教室等での食育SAT及びプロジェクターの活用を増やす。実物大のフードモデルとプロジェクター及びパワーポイントの両方を活用し、対象者により分かりやすく、インパクトを与えることができるような内容を検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

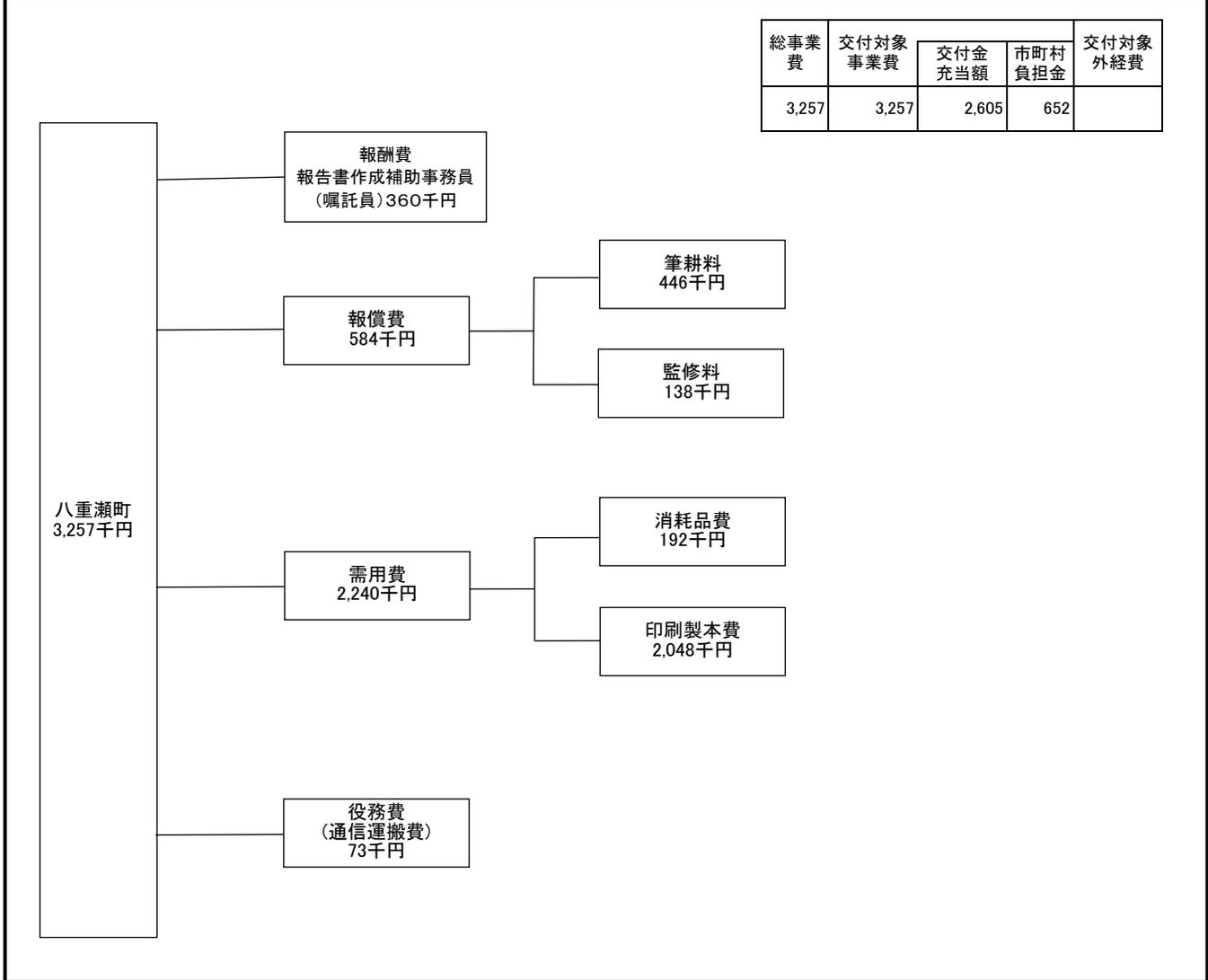


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○備品購入は八重瀬町契約規則第19条第1項に基づき、2社以上の見積りを徴取し、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号及び八重瀬町契約規則第18条第1項第2号に基づき随意契約で締結しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(4)-ア			
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和元年～2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖繩の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	学童疎開に関する資料の収集や当時を知る方々からの聞き取り調査をはじめ、日本軍や米軍が作成した日誌等の軍事史料を調査・収集しまとめる。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和2年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,913	5,683			
		(b)予算現額	2,913	3,748			
		(c)増減額(b-a)	0	▲1,935	0	0	0
		(d)繰越額	-	-		-	-
	A.計(b+d)	2,913	3,748	0	0	0	
	B.執行済額	1,445	3,257				
	うち交付金充当額	1,155	2,605				
	次年度繰越額	0	0		0	0	
	執行率(%) (B/A)	49.6%	86.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	当初、報告書作成事務員を1人雇用予定であったが、4月～12月まで応募が無かったため予算1,935千円減額した。また、執筆において報償363千円、印刷製本費114千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	学童疎開の証言、学童疎開関係の資料を収集	目標	()	()	(収集実施)	()	
		実績			収集完了		
	防衛研究所所蔵の日本軍資料の収集	目標	()	()	(収集実施)	()	
		実績			収集完了		
	米軍史料の収集、選定、翻訳	目標	()	()	(収集実施)	()	
		実績			収集完了		
	平和企画展の開催	目標	()	()	()	(80%以上)	
		実績				89%	
調査報告書の刊行	目標	()	()	()	(200部)		
	実績				200部刊行完了		
達成状況説明	○昨年度収集した具志頭国民学校学童疎開、旧日本軍、米軍の資料等を活用しては平和企画展を開催した。当初は、慰霊の日に予定していたが新型コロナウイルス感染拡大を懸念して9月に時期を変更して開催した。 ○報告書の刊行について、昨年度収集した資料を活用して調査報告書200部を刊行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	平和企画展の開催(満足度80%以上)	目標	()	()	(完了)	(80%)	()
		実績			完了	89%	
	調査報告書の刊行(200部)	目標	()	()	(完了)	(200部)	()
実績				完了	完了		
進捗状況説明	○平和企画展を開催し、満足度89%得ることが出来たことで目標を達成した。 ○昨年度収集した資料を活用して報告書を200部刊行したことで目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	賃金職員の雇用を予定していたが、12月まで応募が無かったことで、前年度収集した資料整理に時間を要したと考えられる。 資料整理に時間を要したことで掲載する資料の選定においても遅れが生じた。	勤務条件等の見直しを図る。 資料整理に時間を要したため、整理方法の見直しや、有識者からの助言を積極的に取り入れる必要がある。
今後の取り組み方針		
戦争体験者が年々減少していることで平和に関する意識が薄れる危険性があるため、継続して調査を行う必要がある。今回の調査で得られた証言や史料を収録した報告書を刊行していくが、沖縄戦に関する意識をもってもらえるよう、広く広報していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



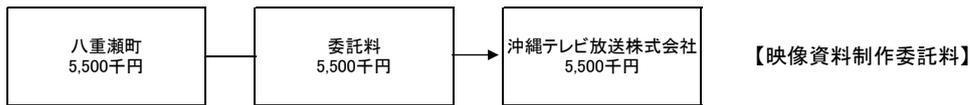
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算執行については、八重瀬町財務規則に基づき執行したので、支出先の選定方法は妥当だったと考える。 ○報償費に関して不用額が生じたが、予算規模については概ね事業内容に見合った規模と考えている。 ○予算の費目・用途については、事業目的達成の観点から目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	「義人謝花昇」映像資料制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(6)-ア		
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民生活を支える人材の育成 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	沖縄自由民権の父と称される八重瀬町出身の偉人「謝花昇」生誕155年の節目に、幅広い世代に向けた資料映像を制作した。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5500	0	0	0	0
		(b)予算現額	5500	0	0	0	0
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	5,500	0	0	0	0	
	B. 執行済額	5500	0	0	0	0	
	うち交付金充当額	4400	0	0	0	0	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業計画のどおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
	映像資料制作の実施	目標	(テレビ放送1回)				
		実績	テレビ放送1回				
	町内4小学校、2中学校で学習教材として活用	目標	(24回)				
		実績	18回				
	観光拠点施設で放映	目標	(120回)				
		実績	120回				
	町内34自治会で上映会実施	目標	(34回)				
実績		2回					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料制作については、広く町内外へ発信するため1回の地方局放送を実施した。 町内小中学校で学習教材として活用については、24回の授業実施の計画が、新型コロナウイルスの影響により授業日数に変更が生じたため、18回となった。 観光拠点施設で放映については、映像完成後12月から3月まで4か月間、毎日放映を実施した。 町内34自治会で上映会実施については、新型コロナウイルスの影響により、2地区での実施となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R2年度		目標値(R3年度)	
	「地域の偉人に対する理解度が向上した」と答えた割合 「八重瀬町に対する印象、興味関心度が高まった」と答えた割合 「地域に対する愛着心が高まった」と答えた割合	目標	(80%)	(80%)		(80%以上)	
		実績		87%			
	【参考指標】	目標	()	()		()	
		実績					
進捗状況説明	「地域の偉人に対する理解度」や「地域に対する愛着」の向上が図られたかをアンケート調査した。575名から回答を得られ、その内87%が「向上した」と回答した。また、「再現ドラマが分かりやすかった」や「もっと掘り下げて調べてみたい」などの意見があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(地域の偉人に対する理解度・地域への愛着の向上) ・これまで活用してきた資料を基に新たに映像資料として制作したことで、比較的短時間で要点を抑えることができたことが、理解度等の向上に繋がったと考えられる。 (活動目標) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光拠点施設及び地域での上映会が概ね中止となった。	(地域の偉人に対する理解度・地域への愛着の向上) ・令和3年度以降も引き続き、学習教材や観光PR等へ活用していく。 (活動目標) ・個別でも視聴できるようDVDの無料貸出や、感染症対策を施した少人数上映会等の開催することで、活用の幅を広げる。
今後の取り組み方針		
・新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった事項については、状況に応じ随時行っていく予定である。また、今後町内小中学校に導入されているGIGAスクール事業との連携し、学習教材としても映像資料の活用を進めていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,500	5,500	4,400	1,100	0



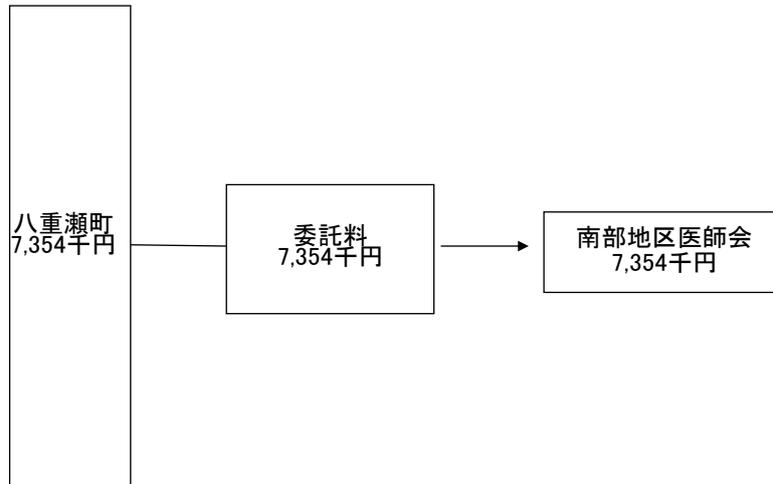
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定は、3社比較し決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○設計通りの執行であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○教育や観光PRの一環であるため妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途等については精算前に検査を実施しており、事業目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	八重瀬町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	輸入感染症対策推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-オ		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	保健衛生の推進		
事業内容	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されている。麻しん及び風しんは非常に感染力が強く、一人が感染すると短期間で感染拡大したり、重症化すると脳炎や肺炎など合併症を引き起こす可能性がある。また妊娠初期の妊婦が風しんに感染すると、生まれた子どもに障害を残す恐れがある。本町では予防接種法に基づき、1歳児と小学校就学前の児童(6歳程度)に対し定期接種を実施している。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	8,406				
		(b) 予算現額	7,354				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,052	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	B. 執行済額	7354					
	うち交付金充当額	5883					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	当初見込んでいた出生数が減少したため、予算1,052千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)	目標	(95%)	()	()	()	
		実績	94.60%				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	R2年度MR1・2期予防接種券発行者数768件、R2年度MR1・2期接種者数727件であった。R2年度MRワクチン接種率は94.6%で目標の95%以上を達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	目標	()	(0件)	()	()	()
		実績		0件			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	活動目標の麻しん及び風しんの予防接種率は94.6%で目標を達成できなかったが、成果目標である外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数は0件であり、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動目標を達成できなかったのは、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が大きいと考えられる。	新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛により、予防接種を控える家庭向けに広報・町ホームページ等で予防接種勧奨を図る。
今後の取り組み方針		
1歳児と小学校就学前の児童(6歳程度)に対し予防接種予診票と定期接種を実施する。 期限迎えるワクチン未接種者に予防接種勧奨(電話・広報・町ホームページにて)を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,399	7,354	5,883	1,471	45



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、医療機関を取りまとめている南部地区医師会と随意契約しており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○予算規模は不用額もなく事業内容に見合った規模であったと考えている。 ○予算の費目・用途については、事業目的に即し、必要なものであったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	